パブリックビューイング

只見町　季の郷 湯ら里

現地での応援

兵庫県立東灘高等学校写真部撮影

応援団責任者として

只見高等学校
応援団責任者
前教頭
佐藤　繁

只見高校ではいろいろな意味で本当に「濃い」2年間を過ごすことができました。3月31日にバタバタと引っ越しをしてから、ようやく全校応援を振り返る機会を得ることができました（現在7月…）。入試業務期間、そして何よりコロナ禍というイレギュラーな状況の中、21世紀枠の県代表決定から甲子園出場まで、毎日リボビタンDとともに怒濤のように走り抜けました。全校応援を成功させる迄は本当に必死で、総括する余裕など皆無の状況でした。頭も気持ちも整理できないまま4月1日全く新しい定時制高校勤務に突入して、甲子園（至る激務の反動ゆえ、4～6月は身体が悲鳴をあげており、お世話になった方々に大変ご無沙汰してしまいました。

各勤務校では優秀な生徒に恵まれ、高体連のインターハイ、高文連の総文祭、北海道から九州まで、県代表として様々な全国大会引率しましたが、まさに高野連、甲子園は別格でした。式典準備、マスコミ対応、表敬訪問、打合せと会議、様々な企画、日程調整に走りながら考える状態でした。そのような中、選抜経験豊富な兵庫県立東灘高校の徳山前校長先生には大いに助けていただきました。

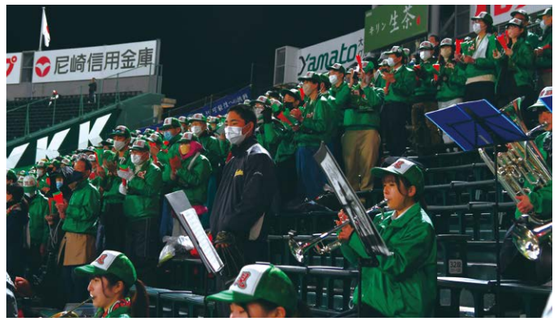
母校か勤務校でいつかアルプス応援をと夢見ていましたが、いざ、次々と立ちはだかる現実の壁を前に、心折れそうにもなりました。先が読めないコロナ禍、昨年に増す大雪、小規模校で教員が少ない中での各種準備作業、そして、開幕3日前の大地震（道路断絶により宮城からの看護師が急遽キャンセル）、30年ぶりの開幕雨天順延（日程すべてスライド、時間変更対応）。もう、何もないようにと願い只見をバスで出発したものの、関西に入ってからも試合当日の雨による時間変更につぐ変更対応、甲子園に入ってからも前試合の延長戦により、寒い中での長時間、全校生徒のネット裏待機……。ただ、初カクテルLEDの公式ナイター、最も遅い時間の試合として記憶、記録に残る、その歴史の現場にいることができました。ネット上の下馬評では21世紀枠が散々叩かれましたが、常連強豪校相手にしっかりゲームメイキングしながら全員出場させる長谷川監督の名采配、聖地を物ともせず、日本一の芝生上を笑顔で全力疾走、甲子園が小さく感じるほど堂々とプレーする選手諸君にあっという間の夢のような1時間53分でした。試合終了後の応援団責任者のバックネット裏本部打ち合わせでは、甲子園本部付きの先生方に「とても良い試合、良い応援だった」とお褒めの言葉をいただきました。選手同様、もう一度この場に帰ってきたくなるのがわかりました。

全国からの応援電話、メールを職員室で受けながら、何とか全国の応援の方々に対しても責任を果たすことができました。何もわからない中で、聖光学院の遠藤前教頭先生、小名浜海星の齊藤教頭先生、磐城の中澤教頭先生、県スポーツ課の滝田課長、各先輩方の指導を仰ぎながらも、一方で手が回らず不手際多く申し訳ない限りです。そして何より野球部長の経験豊富な伊藤勝宏前校長先生、文スポ局であらゆるイベントを成功させた松田事務長をはじめ、若い只見高の先生方のバックアップには本当に助けていただきました。町役場酒井文高さん、旅行業者トップツアー吉田会津支店長、主催毎日新聞高橋支局長、裏方として関わっていただいた方々に、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

野球はやはり他とは違い、スポーツであり、かつ文化でもあると思います。ノスタルジーかもしれませんが、それこそが一朝一夕ではなく、長い時間かかって築き上げてきた伝統というものであるのではないでしょうか。さらに高校生のパワーにはいつも驚くばかりで、ハードスケジュールのバス移動に応援生徒は文句も言わず、応援練習もできないままの本番でしたが、一糸乱れぬ応援をしてくれました。今までの勤務校では、夏の大会では夏季講習も休止して、何度も全校応援の対応をしましたが、只見高において聖地で応援させていただいた幸せにも感謝しております。

1年目の冬も大雪で、職員室の窓から野球部が、二面雪のグランドのクレバスの中で、投球練習をしており、豪雪地帯の練習の厳しさを知りました（その時撮影していた写真が21世紀枠の東北代表決定時のスポニチに採用されています）。今でも只見高ファンの一人であり、試合前の「ホームラン」「週刊ベースボール別冊春季号」は購入済みですが、試合後の只見高特集の「甲子園の星」「別冊若葉号」「報知高校野球」等々も、もちろん購入しています。大島高校（元同僚がいます）のように次の甲子園を遠くから応援しております。

友情応援



兵庫県立東灘高等学校と神戸鈴蘭台高等学校ブラスバンド部（寒空の下、夜遅くまで応援ありがとうございました。）

■福島県立只見高等学校野球部甲子園出場までの経過

日　程	内　容
令和3年11月10日（水）	只見高校が選抜高校野球21世紀枠福島県推薦校に決定
令和3年11月26日（金）	選抜高校野球21世紀枠福島県推薦校表彰式（只見高校会議室）
令和3年12月10日（金）	只見高校が選抜高校野球21世紀枠東北地区候補校に決定
令和3年12月13日（月）	第1回只見高等学校野球部甲子園出場準備委員会
令和3年12月14日（火）	第94回選抜高等学校野球大会21世紀枠東北地区候補校表彰式 （只見高校体育館）
令和3年12月20日（月）	野球部が只見町長・只見町教育委員会教育長へ表敬訪問
令和3年12月24日（金）	カウントダウンボード設置（町寄贈）
令和4年　1月18日（火）	第2回只見高等学校甲子園出場準備委員会
令和4年　1月19日（水）	選抜高等学校野球大会東北地区候補校決定懸垂幕設置（町寄贈）
令和4年　1月28日（金）	第94回選抜高等学校野球大会出場決定 祝甲子園出場決定懸垂幕設置（町寄贈）
令和4年　2月　1日（火）	福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援会設立総会
令和4年　2月15日（火）	第2回福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援会 甲子園出場大会記念誌業者選定審査会
令和4年　2月24日（木）	野球部が福島県知事・福島県教育委員会教育長へ表敬訪問
令和4年　2月28日（月）	旅行業者選定審査会
令和4年　3月　4日（金）	組み合わせ抽選会（オンライン） 3月21日（月・祝）第3試合　対戦：大垣日大高校（岐阜県）
令和4年　3月　9日（水）	野球部甲子園出発式（只見振興センター）
令和4年　3月18日（金）	雨天のため甲子園開幕が順延
令和4年　3月19日（土）	甲子園開幕
令和4年　3月21日（月祝）	全校応援団出発式（只見振興センター）
令和4年　3月22日（火）	対大垣日大高校戦（ナイター）
令和4年　3月23日（水）	全校応援団解団式（只見振興センター）
令和4年　3月24日（木）	野球部帰校式（只見振興センター）
令和4年　3月30日（水）	第3回福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援会
令和4年　7月27日（水）	第4回福島県立只見高等学校野球部甲子園出場後援会